

ハイレンドールの使い方

5ℓ用×4

ハイレンドールは、特に医療用X-レイフィルムのために調製された一液濃縮型現像剤です。深タンクおよびバット処理用として、安定した高い処理能力を持っています。

溶かし方

《使用液5ℓを調製する場合》

<p>ハイレンドール 5ℓ用1びん 水 3.3ℓ</p>	<p>約25°Cの水3.3ℓに5ℓ用1びんを加え、均一になるまで充分にかくはんします。</p>
--	---

《小分けして使用液を調製する場合》

<p>ハイレンドール 1部 水 2部</p>	<p>約25°Cの水2部にハイレンドール1部を加え、均一になるまで充分にかくはんします。</p>
------------------------------------	--

《使用液5ℓを簡単に調製する方法》



液面にそって
油性のペンで
線を引く

- ①びんを台の上に置き、油性のペンで液面にそって、びんに線を引きます。
- ②このびんの液全部を調製容器に移します。
- ③空になったびんに、引いた線の位置まで入れた水を2杯、調製容器に加え、充分にかくはんします。

《ご注意》

- びんの中の液は高濃縮液ですから、寒冷時にはびんの底に結晶を生ずることがあります。このときは、びんの中の液を別容器に移し、約50°Cの温湯をびんに入れ、よく振って結晶を完全に溶かしてから別容器に移した液に加えてください。この液は加えた温湯の分だけ稀釈されていますので、使用液調製の際は加える水の量を、その分だけ少なくしてください。

標準処理条件

《液の温度と標準現像時間》

温度	標準現像時間	温度	標準現像時間
18°C	5分	23°C	3分
20°C	4分	25°C	2分

《現像能力》

- 皿現像で補充なしの場合：四切フィルム 50～80枚/5ℓ
- ハイレンドール補充液を補充しながら現像する場合：
ハイレンドールの性能を一定に保って長く使用でき経済的です。「ハイレンドール補充剤の使い方」をご参照ください。

《写真薬品取扱い上のご注意》

- 絶対に目に入れたり飲んだりしないでください。(万一の場合は医師の診療を受けてください。)
- 皮膚や衣服に付着したときは、水で充分に洗ってください。
- 子供の手の届かない所に置いてください。
- 薬品は正しい使用方法に従ってお使いください。

万一、当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は、同数の新しい製品とお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦いただきます。